

1 鹿児島アリーナの現状と課題

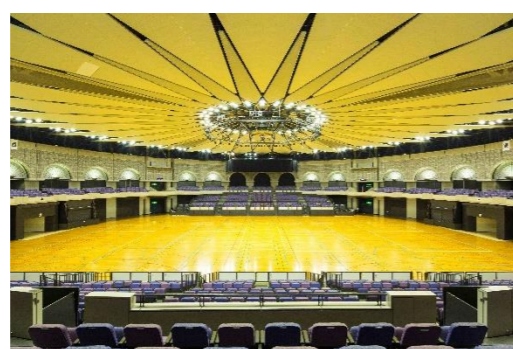
◆鹿児島アリーナの沿革 [本編2ページ]

鹿児島アリーナは平成4年10月に市政100周年記念事業の一環として、旧鹿児島刑務所跡地に開館。

スポーツを“する”、“観る”という二つの機能を併せ持ち、メインアリーナは、国際規模のスポーツ大会の開催、コンサートや講演、展示会などのイベントにも利用でき、またサブアリーナ等もあり、市民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しめる施設になっている。

◆鹿児島アリーナの課題 [本編5ページ]

- ・施設のバリアフリー対応への遅れ（トイレ、エレベーター）
- ・諸室や設備等が利用者にとって使いづらい（冷房の効き、控室の不足等）
- ・機械設備の関係で一部飲食禁止（移動観覧席）
- ・観客が観戦する際の高揚感を演出しづらい（照明）
- ・各種イベントを開催するための設備が不足（映像、照明設備）



2 施設リニューアルの基本的考え方

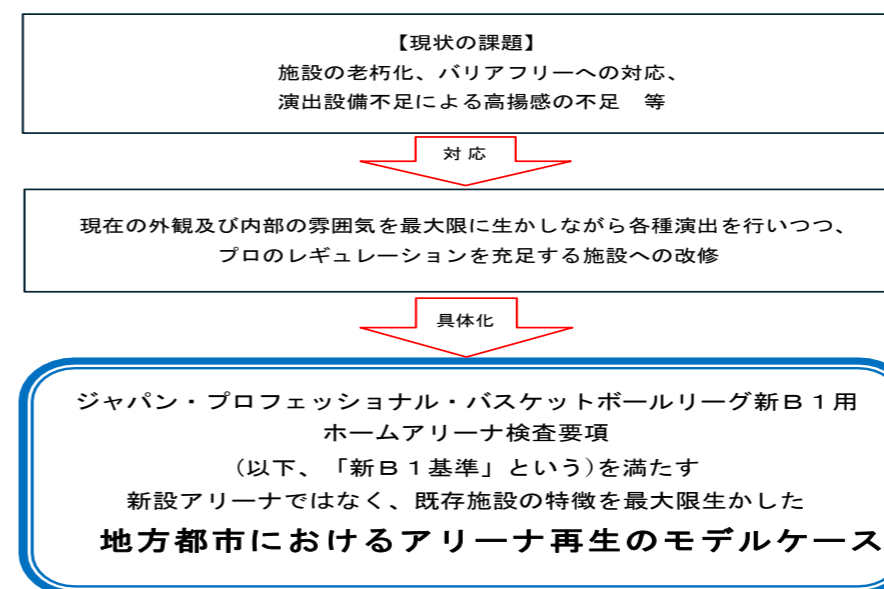
◆施設リニューアルの必要性 [本編6ページ]

鹿児島アリーナは、地域の住民にとって愛着のある地域のシンボルとしての一面を有しているとともに、集客力を有する“する”スポーツ、“観る”スポーツの価値や潜在力を最大化させるための舞台であり、定期的に数千人を集めるイベントを開催できる集客施設です。

一方で、平成4年10月の開館から30年以上が経過し、使用用途が多様化したことなどにより、館内設備の老朽化が進んでおります。こういった状況を踏まえ、主目的のスポーツを“する”アリーナへ進化発展させ、スポーツ・エンターテインメントを“観る”アリーナへと施設の本来目的を継承しつつ、新たな市民・来場者ニーズへの対応のために転換を図る必要があります。

鹿児島アリーナの交流拠点機能としての役割をブラッシュアップし、スポーツをする人・観る人、様々な目的を持つ人々に親しまれる施設への機能強化を図る

◆施設リニューアルの目指す方向性 [本編6ページ]



3 アリーナリニューアルの構成

◆施設リニューアルの考え方 [本編8~11ページ]

▼新B1基準を踏まえた対応を行うとともに、老朽化した既存施設について、時代のニーズに追いついていない各種設備について、メインアリーナを中心とした改修の検討を行う。

- ①座席の改修 ②トイレの改修 ③諸室等の再配置 ④その他施設の改修



新B1基準に対応した施設への改修を行うとともに、鹿児島アリーナを利用する人（選手、演者、一般利用者等）や観客が快適に施設を利用できるよう、時代のニーズに追いついていない各種設備についても改修を検討

◆エンターテインメント設備リニューアルの考え方 [本編12~14ページ]

- ▼エンターテインメント設備の継続性とシステム全体の段階的な成長を見据えた設備の導入検討
- ▼予測されるトレンド（運用の効率化や省力化など含む）と新B1基準を踏まえた設備の導入検討
- ▼来場者に「行ってみたい」と感じ、「また来たい」と思っただけの“観る”を体験するアリーナを実現するために最適な設備の導入検討



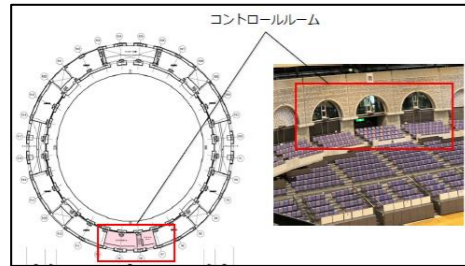
将来的に予測されるトレンド（運用の効率化や省力化など含む）と新B1基準を踏まえ、それに対応したシステムに即した機器、設備を採用し、来場者の心を掴み、魅了するアリーナを目指す。

4 アリーナリニューアルのイメージ

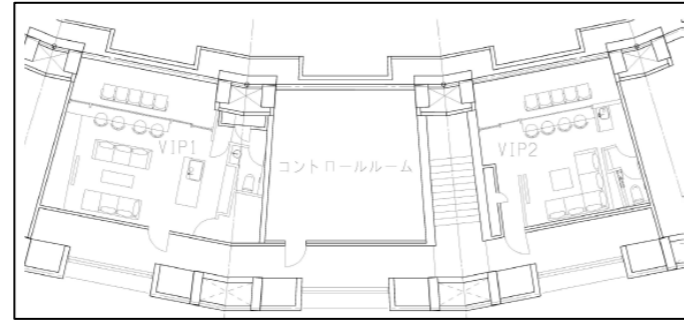
◆スイート席 [本編 15 ページ]

- ▼現コントロールルームをスイート席へ転用。
- ▼アリーナ側壁面は全面ガラス張りで個室ながらも解放感があり、バルコニー席を設置して更なる臨場感が楽しめる。

《スイート席位置(現コントロールルーム)》



《スイート席配置(案)》



《スイート席からの眺望》



《スイート席例》



(事例写真：沖縄アリーナ)

◆LEDビジョンシステム等 [本編 16~17 ページ]

▼センターハングビジョン

- ・アリーナ中心部の天井から吊り下げる4面のビジョンで、映像を中心として音響や照明と連動させ、場内の一体感のある演出の中心的な役割を担い、選手寄りカメラの映像や、スローリプレイ、スタッツ、または、予め作成済みの演出コンテンツを中心に表示する。試合中以外には、スポンサーロゴや館内での注意事項などアナウンスが必要な情報を表示



(事例写真：ブレックスアリーナ宇都宮)

▼リボンビジョン

- ・アリーナの側面に設置するビジョンで、演出時のコンテンツやスポンサーロゴなどを主に表示し、映像を中心とした音響や照明との連動による場内の一体感を盛り上げる演出に効果を発揮する。



(事例写真：ブレックスアリーナ宇都宮)

▼演出音響システム

- ・場内のアナウンスだけでなく、映像や照明との連動による一体感のある音響で、より迫力のある演出効果を生み出す。

▼演出照明システム

- ・映像や音響と連動した効果的な照明演出により、場内の一体感・臨場感を高める効果を生み出す。

5 アリーナリニューアルのスケジュール [本編 17 ページ]

令和8年秋に開幕するBリーグ2026-27シーズンには、新B1基準を満たすアリーナとしてシーズンを迎えることを目標に事業を推進します。
 なお、リニューアルの工事内容によっては、スケジュール等に変更の可能性があります。